

日本地学教育学会 2020年度第2回 常務委員会議事録

日 時：2021年1月21日（木）18時00分～19時45分

場 所：Cisco Webex Meetingsによるweb会議

出席者：久田健一郎，伊藤 孝，小関純一，小森次郎，廣木義久，上栗伸一，
松本 現，間處耕吉，南島正重，宮下 治，宮脇亮介，中林俊明，
西浦慎悟，澤口 隆，菅原久誠，高橋 修，吉本直弘，米澤正弘，
渡来めぐみ（計19名）

議 題

1. 前回議事録の確認

2. 2021年度共通テスト評価委員の選出について（松本）

提案のあった2021年度共通テスト評価の作成と委員構成について検討した。松本現（統括），青木秀則，南島正重，内記昭彦，宮嶋敏，安藤祐美，菊地信吾，比企祐介（敬称略）という体制で行って頂くことになった。3月上旬に大学入試センターに原稿提出予定。

3. 「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて（中間報告）」に関するアンケート提出について（久田会長）

表記アンケート回答の原案が久田会長から示され，意見が交わされた，修正の後，久田会長から日本学術会議へ提出されることになった。

4. 編集委員会委員の追加選出について（西浦）

編集委員会の気象担当委員の増員を常務委員会として許諾した。

5. 支部活性化について（伊藤）

支部ごとの会員数が提示され，再度，支部活性化について議論された。前回の議論どおり，常務委員会・関東支部で試行的にイベントを開催し，その結果を見て，支部活動活性化のための計画案や予算配分について改めて検討することが確認された。

6. 日本地学教育学会学会賞の選考について（吉本）

学会賞選考のあり方について議論された。小規模なワーキンググループで，学会賞選考のあり方など，他の賞との関連も含め継続して議論を進めていくことになった。

7. 入会者・退会者について（中林）

入会者（学生会員）：中村大輝（広島大学大学院）

退会者：小笠原義秀

*正会員 420，購読有料会員 23，購読無料会員 24，学生 8，在外 1，シニア会員 60，名誉 3：合計 539.

8. その他

(1) 「地学教育」発刊のニュースレターによるお知らせについて（小森）
「地学教育」誌のオンライン掲載のタイミングで、編集と広報が連携をとって、会員あてニュースレターでお知らせすることが確認された。また、J-STAGE の ID とパスワードは、各会員のページにも掲載する。73 巻 2 号からアナウンスを流す。

報 告

1. 東京大会について（宮下）

11 月にホームページを立ち上げた。2 月に次回の大会実行委員会を開催し、講演形態や非会員参加の可能性などについて議論する予定である。

2. 各種委員会報告

(1) 編集委員会（西浦）

「地学教育」第 73 巻第 2 号および第 3 号についての進捗状況が報告された。第 73 巻第 2 号は発刊間近。第 73 巻第 3 号は、現在、取りまとめ中。受付・審査中の投稿論文（2020/11/20 現在）は計 22 件（原著論文 16, 資料論文 6）。また、1 件の論文中の図版使用許可の申請が、著者本人からあったが、出典の記載等を遵守することで許可。

(2) みんなの地学編集委員会（廣木）

「みんなの地学」編集状況について報告があった。特集の依頼（5 編の論文）については終了。

* 次回 2020 年度第 3 回常務委員会 3 月 26 日（金）開催